

## 平成28年度事業計画

### 概要

少子高齢化が進展する中、若者、女性、高齢者等の活躍の場を拡大し、全ての人材が能力を高め、その能力を存分に発揮できる「全員参加型の社会を構築する」との方針を打ち出し、年齢にかかわらず意欲と能力に応じて働くことができる「生涯現役社会」の実現に向けて取り組みを進めており、国会においては総理大臣が施政方針の中で「シルバー人材センターの就業機会提供事業にかかる期待」を明言されました。

高齢者の生きがいの充実、生活の質の向上、社会参加による地域社会の活性化を図り、医療費をはじめとする社会コストの抑制に寄与するシルバー人材センター事業に寄せる期待は大きなものがあります。

このような中、当センターの平成27年度の事業実績は、会員数は横ばい、契約金額では前年度比5%程度の減少を見込んでいます。また、受注件数においては公共、民間事業所の受注件数が伸び悩む中一般家庭における伸びに顕著なものがあります。さらに、安全就業においてはこれまで同様「安全第一」を最優先してきた結果、軽微な事故はもちろんのこと重篤事故ゼロを更新しております。

平成28年度は、「中期3ヶ年計画」の2年目を迎え、計画初年度である平成27年度の実績総括を行い、山積する諸課題に積極的に取り組んでいかなければなりません。さらに平成28年10月には「センター設立20周年」を迎えることになっております。この大切な節目の年に何をなすべきなのか、会員をはじめ役職員が一丸となって邁進しなければなりません。

具体的には、「会員の増強」「就業開拓」「後継者の育成」「組織の活性化」等々であり、いずれも重要課題で今後継続すべきものと考えます。

特に、「会員の増強」と「就業開拓」は車の両輪として、「会員の増強」は団塊の世代全てが65歳を迎え、その世代を会員として取り込み、生涯現役として現役引退した後も地域社会の「担い手」として健康で働く意欲を持ち続けながら生涯を送ることを目指さなければなりません。また、「就業開拓」においては、平成28年度はシルバー派遣事業を積極的に推進しなければなりません。

これら山積する課題を地道に解決、克服するためには、会員をはじめ役職員が意思疎通を図り、活力ある組織を目指して意識改革を行い、積極的に活動しなければなりません。さらにこれらを積極的に推し進めるには行政をはじめ関係各位の絶大なるご理解、ご支援が不可欠であります。

またシルバー人材センターの基本理念を念頭に「親切・丁寧」をモットーとして、お客様から信頼され、喜んでいただける仕事ぶりで多種多様なニーズにお応えし、地域社会に貢献すべく会員、役職員連携のもと事業展開を進めてまいります。

## <基本方針>

- 1 組織体制の充実と強化
- 2 安全就業と健康管理の徹底
- 3 普及啓発活動の推進
- 4 就業開拓の強化
- 5 就業に関する技術・技能・知識の習得
- 6 適正就業の徹底
- 7 会員相互の交流活動の推進
- 8 事務局体制の整備
- 9 関係機関との連携強化

## <実施計画>

- 1 組織活動の充実・強化
  - (1) 理事会・班長会議・地域懇談会等の一層の充実により、センター全体の活性化に努めると共に理事会・事務局・地域班等の連携を強化する。
  - (2) 各委員会活動を見直し機能化を図る。
  - (3) 会員の資質の向上。
- 2 安全就業と健康管理の徹底
  - (1) 就業にあたっては「安全第一」を心がけ、事故防止のため「安全就業基準」「適正就業基準」の周知徹底を図る。
  - (2) 就業途上等の交通事故の防止。
  - (3) 安全に関する講習会等の開催により安全意識の高揚を図る。
    - ・安全大会
    - ・作業用機械安全取扱講習
    - ・普通救急救命講習
    - ・冬季安全就業講習
    - ・運転業務就業のための講習
    - ・その他の講習会
  - (4) 会員各自が病気やけがに注意し体調維持に努めると共に、年1回健康診断を受けることを奨励する。
- 3 普及啓発活動の推進
  - (1) 会員による口コミ活動を展開する。
  - (2) 会員強化地域を設定しチラシ等の配布を行う。
  - (3) 誠意ある、丁寧な就業によりイメージアップを図る。
  - (4) ボランティア活動（環境整備等）を実施する。